

他者の情報から傾向を捉え、解決策を見いだす能力の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 宝塚市立南ひばりガ丘中学校 末吉 克行


|  |   |
|--|---|
| <p><b>本時の目標</b></p> <p>・栽培した野菜の収穫量、状態、栽培条件を集約し、傾向を捉える。<br/>・集約した情報から、学校が避難所となった場合に、栽培するのに最適な野菜を見いだす。</p> | <p><b>校種・学年</b></p> <p>中学校・1年</p>               |
|  | <p><b>教科・領域</b></p> <p>技術分野<br/>(B:生物育成の技術)</p> |
|  | <p><b>アプリ・ソフト</b></p> <p>・SKY MENU (気づきメモ)</p>  |
|  | <p><b>備考</b></p>                                |

○本時の展開

|                   |   |
|-------------------|---|
|                   | <p>○学習活動 (◆指導上の留意点)</p>   |
| <p><b>導入</b></p>  | <p>栽培した野菜の傾向を見つけよう</p> <p>○栽培の結果をもとに、どのような条件で収穫量がどう変わるのかを考えさせる。<br/>◆見つけた傾向を「気づきメモ」に入力させる。整理しながら気づいた新たな情報は、再度入力してもよいことを伝える。</p> |
| <p><b>展開</b></p>  | <p>避難所での栽培に最適な野菜を考えよう</p> <p>○「気づきメモ」の意見から、どの野菜が避難所での栽培に最適かを考えさせる。<br/>◆選択した野菜が最適である理由も述べるように指導する。</p>                          |
| <p><b>まとめ</b></p> | <p>○学年として、避難所での栽培に最適な野菜を確認する。<br/>◆その野菜が最適な理由も含めて、理解したことをワークシートにまとめさせる。</p>   |

**育成できる情報活用能力**

◎自分が見つけた傾向を他者に伝えるように文書化し、「気づきメモ」で投稿することで意思を表現できる。



**育成できる情報活用能力**

◎多様な情報から必要な意見を集約し、最適な栽培方法を見いだせる。

| 生徒の感想   |  |
|---|--|
| <p>コマツナは班によって収穫量が多い班と少ない班に分かれた。多い班と少ない班の差は約80グラムだった。武道場の下が圧倒的に多く、その他の野菜も武道場の下が収穫量が多い班が多かった。軒下が収穫量が少ないので日光の当たりが違いがあると思う。</p>   |  |
| <p>ラディッシュ以外は使用済みの土のほうが市販の土より収穫量が多かった。またびっくりしたことに使用済みの土+化学肥料では普通の使用済みの土より収穫量が少なかった。また全体的に野菜の種類別で収穫量を見てみると小松菜が多い。設置場所別でみてみると武道場の北が収穫量が多かった。おそらく日光がよく当たるからだと考えられる。</p> |  |

**<情報活用能力の育成とその効果>**

- ・「気づきメモ」は生徒の意見をチャット形式で集約し、教師の PC から大画面で提示できるので、挙手による発言に比べ、ほとんどの生徒が発表することができる。
- ・多くの意見から選択することで、自分では気づかなかった視点で検討することができる。